

＜他集落との連携、高齢農家等への支援に取り組む事例＞

○隣接する集落協定と連携した獣害対策

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	栃木県 なすぐん 那須郡 なかがわまち 那珂川町 こいさごなかごう 小砂仲郷		
協定面積 9.9ha	田（100%）		
	水稻・いちご		
交付金額 208.9 万円	個人配分		47%
	共同取組活動 53%		
	農用地等の維持管理活動		26%
	農道・水路等整備のための積立 会議費等		19% 8%
協定参加者	農業者 14 人		開始：平成 14 年度

2. 取組に至る経緯

当集落では、農業従事者の高齢化に備え、担い手育成や集落ぐるみの営農体制確立を目標に掲げて平成 14 年度から本制度に取り組み、第 2 期対策では、集落営農組織に水稻 1.6ha の収穫作業を委託した。

また、イノシシによる農作物被害が深刻で、営農意欲の低下による耕作放棄地の発生が大きな課題となっていた。このため、当初は個人ごとに獣害対策を行っていたが、農作物被害が減少しなかったことから、隣接する 4 集落協定（来目木・宮本・虫の音・渡戸）と連携してイノシシの生息状況と農作物被害状況を調査し、5 集落の協定農用地全域をカバーする総延長 12.2km の電気柵を共同で設置するとともに、点検・補修を行うこととした。

3. 取組の内容

第 3 期対策においても、引き続き集落ぐるみで電気柵の点検・補修を実施しており、協定集落内で獣害の発生はなくなった。

また、集落営農組織へ水田 1.0ha の耕起作業を委託し、目標面積を達成したが、今後においても、集落営農組織と連携して農作業委託を推進していくことにしている。

さらに、今後は、老朽化した水路の補修工事を計画的に行うことにしている。



【電気柵設置講習会】



【電気柵の設置状況】

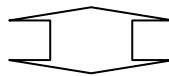
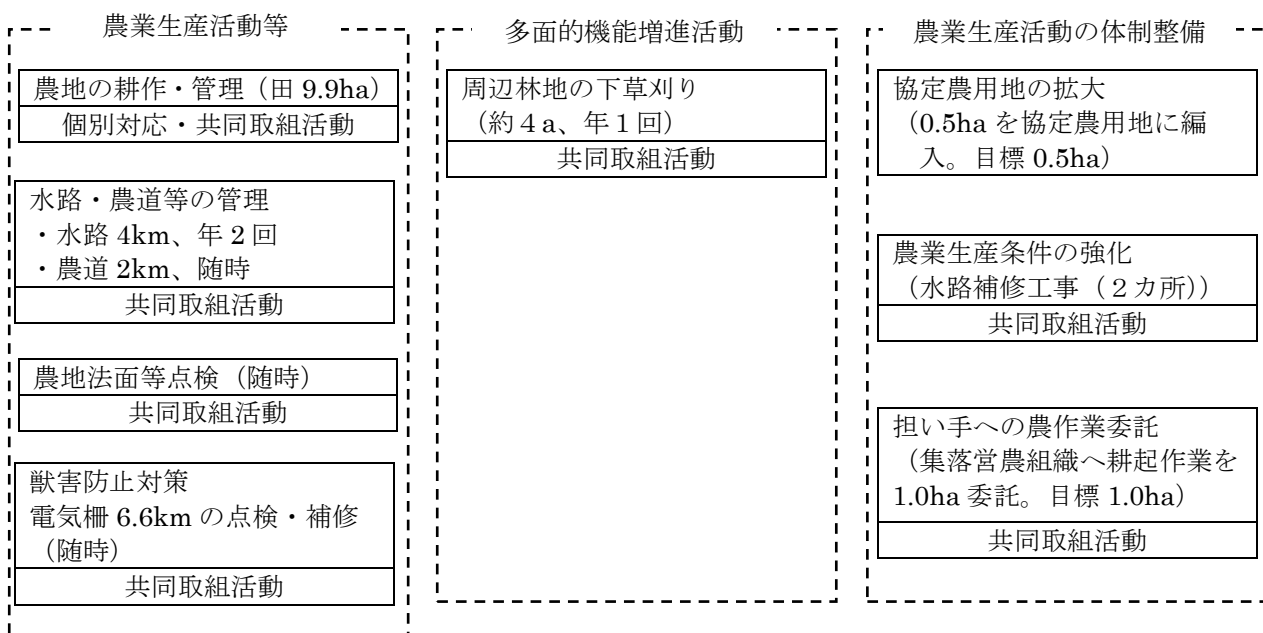
[集落の将来像]

老朽化した水路・農道等を計画的に補修し、集落営農組織への農作業委託により担い手を育成し、集落ぐるみで営農体制の整備を行う。

[将来像を実現するための活動目標]

- ①農地の維持管理と耕作放棄地の発生防止
- ②土地改良施設の維持補修
- ③電気柵による獣害対策活動継続
- ④集落営農組織との連携による農業担い手育成

[活動内容]



集落外との連携

- ・隣接する集落協定と連携して獣害対策（電気柵の点検・補修など）を実施する
- ・集落営農組織への農作業委託を推進する

4. 今後の課題等

高齢化する協定構成員の農作業の負担を軽減し、担い手（集落営農組織）を育成する必要があるため、共同利用機械の購入や農作業委託を推進していく必要がある。

[第2期対策の主な成果]

- 電気柵設置 6.6km
- 担い手（集落営農組織）への農作業委託 1.6ha